

◎ 機能の全体的評価尺度 (Global Assessment of Functioning)

- 支援終了時の対象者の状態を、症状の重症度と機能レベルの2つの側面から評価してください。
- 下記の採点基準を91~100点から順に読み進めていき、症状の重症度、又は機能レベルのどちらか悪い方が当てはまる得点範囲(例:31-40点)を決めてください。その際、精神的に健康から病気までを一つのつながったものと仮定して、心理的、社会的、職業的機能を考慮してください。身体的(または環境的)制約による機能の障害は含めないでください。
- 次に、その10点の得点範囲内での点数を決めてください。例えば、45、68、72のように、得点範囲内で適当と思う点数をひとつ決め、一番下の回答欄に記入してください。

点数	機能の全体的評価尺度
91~100点	広範囲の行動にわたって最高に機能しており、生活上の問題で手に負えないものは何もなく、その多数の長所があるために他の人々から求められている。症状は何もない。
81~90点	症状が全くないか、ほんの少しだけ(例:試験前の軽い不安)、すべての面でよい機能で、広範囲の活動にも興味を持ち参加し、社会的にはそつがなく、生活に大体満足し、日々のありふれた問題や心配以上のものはない(例:たまに、家族と口論する)。
71~80点	症状があったとしても、心理的社会的ストレスに対する一過性で予期される反応である(例:家族と口論した後の集中困難)、社会的、職業的または学校の機能にごくわずかな障害以上のものはない(例:学校で一時遅れをとる)。
61~70点	いくつかの軽い症状がある(例:抑うつ気分と軽い不眠)、または社会的、職業的もしくは学校の機能に、いくらかの困難がある(例:時にする休みをしたり、家の金を盗んだりする)が、一般的には機能がかなり良好であって、有意義な対人関係もかなりある。
51~60点	中等度の症状(例:感情が平板的で、会話がまわりくどい、時に、恐怖発作がある)、または社会的、職業的、または学校の機能における中等度の障害(例:友達が少ない、仲間や仕事の同僚との葛藤)。
41~50点	重大な症状(例:自殺の考え、強迫的儀式がひどい、しょっちゅう万引きする)、または社会的、職業的または学校の機能において何か重大な障害(友達がいない、仕事が続かない)。
31~40点	現実検討か意思伝達にいくらかの欠陥(例:会話は時々、非論理的であいまい、または関係性がなくなる)、または仕事や学校、家族関係、判断、思考、または気分など多くの面で粗大な欠陥(例:抑うつ的な男が友人を避け家族を無視し、仕事ができない。子供が年下の子供を殴り、家で反抗的で、学校では勉強ができない)。
21~30点	行動は妄想や幻覚に相当影響されている、または意思伝達や判断に粗大な欠陥がある(例:時々、破裂、ひどく不適切にふるまう、自殺の考えにとらわれている)、またはほとんどすべての面で機能することができない(例:一日中、床についている、仕事も家庭も友達もない)。
11~20点	自己または他者を傷つける危険がかなりあるか(例:死をはっきり予期することなしに自殺企図、しばしば暴力的、躁病性興奮)、または時には最低限の身の清潔維持ができない(例:大便を塗りたくる)、または意思伝達に粗大な欠陥(例:ひどい破裂か無言症)。
1~10点	自己または他者をひどく傷つける危険が続いている(例:何度も暴力を振るう)、または最低限の身の清潔維持が持続的に不可能、または死をはっきり予測した重大な自殺行為。
0点	情報不十分。

GAF得点	点
-------	---

ご回答ありがとうございました。  
未回答の項目がないか今一度ご確認の上、提出をお願いいたします。

## 研修日程

第 1 日目：1 月 17 日 木曜

☆9:30 受付

☆10:00-10:30 開会式

① 10:30-11:00 講義 精神障害者アウトリーチ推進事業の現状と方向性

② 11:00-12:30 講義 アウトリーチ支援の基本 導入・支援・終結

☆12:30-13:30 昼食

③13:30-15:00 講義 アウトリーチ支援におけるケアマネジメント

☆15:00-15:10 休憩

④15:10-17:00 講義 精神障害者アウトリーチ推進事業の現況と課題  
家族・住民や関係機関との協力関係

☆18:00-20:00 懇親会

第 2 日目：1 月 18 日 金曜

⑤9:30-12:00 &lt;事業所と保健所と分かれての研修&gt;

(受託事業所) 演習 ケアマネジメントの実際

(保健所) グループワーク アウトリーチにおける保健所の役割

☆12:00-13:00 昼食

⑥13:00-15:00 グループワーク アウトリーチ事業の課題と解決法  
(受託事業所と保健所合同)

☆15:00-15:30 閉会式

## 『アウトリーチ推進事業研修会』アンケートのお願い

この度は、『アウトリーチ推進事業研修会』にご参加頂きありがとうございます。私たちは、平成 24 年度厚生労働省科学研究補助金 障害者対策総合研究事業（精神障害分野）「アウトリーチ（訪問支援）に関する研究」の一環として、皆様が研修を通して、何を学ばれたのかについてうかがい、わかったことを今後の研修の改善に役立てていく目的で調査を行っています。この研究の趣旨をご理解いただきご協力いただけるよう、お願い申し上げます。まだまだ内容や実施方法に課題があると感じております。皆様の率直なご意見・ご感想を頂ければ幸甚です。

なお、アンケート用紙は「研修前調査票」と「研修後調査票」の 2 種類が同封されています。「研修前調査票」については研修 1 日目、「研修後調査票」については 2 日目の該当セッション終了後に、研修会場に用意しております回収ボックスに入れてくださいますようお願いいたします。なお、いただいた回答の結果を前後比較する目的で調査票には ID 番号が記入されています。他の方の調査票と交換等されませんようよろしくお願いいたします。

今後の貴重な資料となりますので、なにとぞご協力のほどお願い申し上げます。

### プライバシーの保護等について

- ・ 調査で得られた情報は、プライバシーの保護に十分配慮し厳重に保管いたします。
- ・ データは基本的に ID 番号によって管理し、ID 番号と個人情報の対応表は調査事務局で厳重に管理いたしますので、どなたがどんな回答をしたかは、分析担当者にもわかりません。
- ・ あなたの個人的な情報が外部に漏れることはありません。調査によって得られたデータが研究以外の目的で使用されることはありません。
- ・ この調査に協力しなくても、今後不利益を受けることはありません。

### 研究成果の公表について

- ・ 研究成果などは報告書、学会発表や論文などで公表することがありますが、その場合もあなたの氏名など個人情報を公開することはありません。

平成 25 年 1 月 17 日

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金

障害者対策総合研究事業（精神障害分野）

「アウトリーチ（訪問支援）に関する研究」分担研究者

東北福祉大学 総合福祉学部 西尾雅明

質問等ございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

東北福祉大学 総合福祉学部 西尾研究室

電話・FAX：022-301-1120 メール：nishio@tfu-mail.tfu.ac.jp

## 『アウトリーチ推進事業研修会』アンケート

問 1：以下の各々の項目について「重要性」と「実践度」についてうかがいます。「重要性」については、アウトリーチにおいてどの程度重要と感じるかを「10点：とても重要」から「0点：全く重要でない」で、「実践度」についてはそれらを日常の臨床実践の中で実践できているか「10点：十分に（常に）実践している」から「0点：全く実践していない」で、例にならって10点満点で得点を記入してください。

		重要性 アウトリーチにおいて どの程度重要か	実践度 日常の臨床実践の中で 実践できているか
例	●●●の○○○について	8 点/10 点	3 点/10 点
1	精神疾患・障害からのリカバリーという概念	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
2	病棟や施設の作法を利用者の自宅にもちこまず、利用者やその家族の住む場所の作法を尊重すること	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
3	利用者・家族との良好な関係づくり(関係を持ちにくい当事者(未受診察、治療中断者)へもアプローチを行う)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
4	ストレンクス・モデルに基づいたケアマネジメントにおけるアセスメント(利用者や環境の強みなど、ケアマネジメントを行う上で有用な情報を集める)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
5	ストレンクス・モデルに基づいたケアマネジメントにおけるケアプラン作り(初期アセスメント、初期プランについても理解する)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
6	ストレンクス・モデルに基づいたケアマネジメントにおける、実際の支援へのアセスメントやプランの適用(ケア会議やサービスを振り返るためのモニタリングも行う)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
7	利用者本人や家族をエンパワメントするための心理教育	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
8	多職種チームによる支援(多職種で機能分担と相互干渉のバランスをとりながら、ケアの決定と遂行を主体的に、直接的、包括的に行い、利用者の状態に合わせた訪問頻度・時間を設定し、毎日ミーティングの機会をもつ)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
9	家族や近隣住民、雇用主などへのインフォーマルな支援	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
10	医療機関、保健所、市町村、福祉サービス機関が有機的に連携した支援(アウトリーチ推進事業における評価検討委員会の運営など)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
11	利用者の地域生活や生命が破綻しかかっているような状況での、急性期対応(クライシス対応)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点

問 2：精神疾患・障害からのリカバリーという概念に関するあなたの考え（態度）を知りたいと思っています。

以下の各文章を読み、あなたの意見に最も近い数字を○で囲んでください。

	大いに そう思う	いくらか そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
1 重い症状や障害があってもリカバリーできる	1	2	3	4	5
2 リカバリーのプロセスは、希望を必要とする	1	2	3	4	5
3 私は、精神の病を持つ人々を尊敬することができる	1	2	3	4	5
4 私は、利用者を患者扱いするのではなく、人としてみている	1	2	3	4	5
5 私は、利用者の可能性を信じている	1	2	3	4	5

問 3：あなたの性別について、あてはまる数字を○で囲んでください。

1) 男性                      2) 女性

問 4：あなたの年齢について、あてはまる数字を○で囲んでください。

- 1) 19 歳以下                      2) 20～29 歳                      3) 30 歳～39 歳                      4) 40 歳～49 歳  
5) 50 歳～59 歳                      6) 60 歳～69 歳                      7) 70 歳以上

問 5：あなたの精神科臨床経験年数について、あてはまる数字を○で囲んでください。

- 1) 5 年未満                      2) 5 年～ 9 年                      3) 10 年～14 年                      4) 15 年～19 年  
5) 20 年～24 年                      6) 25 年～29 年                      7) 30 年～34 年                      8) 35 年以上

問 6：あなたのアウトリーチ経験年数について、あてはまる数字を○で囲んでください。

- 1) 5 年未満                      2) 5 年～ 9 年                      3) 10 年～14 年                      4) 15 年～19 年  
5) 20 年～24 年                      6) 25 年～29 年                      7) 30 年～34 年                      8) 35 年以上

問 7：あなたの職種について、当てはまる選択肢を以下から選んでください。幾つかの複数の職種が当てはまる場合は、アウトリーチ事業担当者のアイデンティティとして最もふさわしい選択肢を○で囲んでください。

- 1) 精神保健福祉士                      2) 作業療法士                      3) 相談支援専門員  
4) 介護支援専門員                      5) 看護師                      6) 医師  
7) 臨床心理士                      8) 理学療法士                      9) 作業療法士  
10) 社会福祉士                      11) 保健師                      12) 大学等教職員  
13) 市町村社会福祉協議会職員                      14) 都道府県社会福祉協議会職員                      15) 行政担当者  
16) その他（具体的に）（                      ）

問 8：この研修会にあなたがどのような立場で参加しているかについて、あてはまる数字を○で囲んでください。

- 1) あなたの自治体（都道府県）でアウトリーチ推進事業を実施しており、今回は事業を委託されている事業所（医療機関や福祉サービス事業所など）の臨床スタッフとして参加している  
2) あなたの自治体（都道府県）でアウトリーチ推進事業を実施しており、今回は保健所職員の立場で参加している  
3) あなたの自治体（都道府県）でアウトリーチ推進事業を実施していないが、希望により参加している  
4) その他（さしつかえない範囲で、具体的にご記入ください）  
（                      ）

ご協力、ありがとうございました。

## 『アウトリーチ推進事業研修会』アンケート

問 1：以下の各々の項目について「重要性」と「実践度」についてうかがいます。「重要性」については、アウトリーチにおいてどの程度重要と感じるかを「10点：とても重要」から「0点：全く重要でない」で、「実践度」についてはそれらを日常の臨床実践の中で実践できているか「10点：十分に（常に）実践している」から「0点：全く実践していない」で、例にならって10点満点で得点を記入してください。

		重要性 アウトリーチにおいて どの程度重要か	実践度 日常の臨床実践の中で 実践できているか
例	●●●の○○○について	8 点/10 点	3 点/10 点
1	精神疾患・障害からのリカバリーという概念	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
2	病棟や施設の作法を利用者の自宅にもちこまず、利用者やその家族の住む場所の作法を尊重すること	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
3	利用者・家族との良好な関係づくり(関係を持ちにくい当事者(未受診察、治療中断者)へもアプローチを行う)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
4	ストレングス・モデルに基づいたケアマネジメントにおけるアセスメント(利用者や環境の強みなど、ケアマネジメントを行う上で有用な情報を集める)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
5	ストレングス・モデルに基づいたケアマネジメントにおけるケアプラン作り(初期アセスメント、初期プランについても理解する)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
6	ストレングス・モデルに基づいたケアマネジメントにおける、実際の支援へのアセスメントやプランの適用(ケア会議やサービスを振り返るためのモニタリングも行う)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
7	利用者本人や家族をエンパワメントするための心理教育	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
8	多職種チームによる支援(多職種で機能分担と相互干渉のバランスをとりながら、ケアの決定と遂行を主体的に、直接的、包括的に行い、利用者の状態に合わせた訪問頻度・時間を設定し、毎日ミーティングの機会をもつ)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
9	家族や近隣住民、雇用主などへのインフォーマルな支援	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
10	医療機関、保健所、市町村、福祉サービス機関が有機的に連携した支援(アウトリーチ推進事業における評価検討委員会の運営など)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
11	利用者の地域生活や生命が破綻しかかっているような状況での、急性期対応(クライシス対応)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点

問 2：精神疾患・障害からのリカバリーという概念に関するあなたの考え（態度）を知りたいと思っています。

以下の各文章を読み、あなたの意見に最も近い数字を○で囲んでください。

	そう 思わ ない	全 く	そ う 思 わ な い	あ ま り	い え な い	ど ち ら と も	そ う 思 う	い く ら か	そ う 思 う	大 い に
1 重い症状や障害があってもリカバリーできる	1		2		3		4		5	
2 リカバリーのプロセスは、希望を必要とする	1		2		3		4		5	
3 私は、精神の病を持つ人々を尊敬することができる	1		2		3		4		5	
4 私は、利用者を患者扱いするのではなく、人としてみている	1		2		3		4		5	
5 私は、利用者の可能性を信じている	1		2		3		4		5	

問3：今回の研修で、特に良かったこと、良かったセッションについてお聞かせください。

問4：今後も、特に、このような研修会でとりあげてほしい内容についてご教示ください。

問5：今回の研修の全般的な感想・印象についてご自由にご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。

